



みをつくし

静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
学校だよりNo.2
令和7年10月1日 発行



地域の皆様と共に過ごす時間は 子どもの成長を促す栄養剤

教頭 池上 元子

記録的な暑さだった夏もようやく過ぎ、朝夕には吹く風の中に秋の気配を感じるようになってまいりました。学校周辺の田園も、少しずつ色づき始めています。

昨年度より始まった「みをつくしサポーター」の取り組みは、校外学習での見守り、校内での交流、子どもたち手作りの姫様道中をご覧いただいたり、細江音頭と一緒に踊ったりと、サポーターの皆様と児童生徒がふれあう場面が一層深く豊かになってまいりました。お互いをよく知ることで、子どもたちがサポーターの方に会う機会を楽しみにして学級で話題にしたり、手紙を書いたりと、子どもたちの学びは温かく支えられています。サポーターの皆様と共に過ごす時間が、子どもたちの成長を促す栄養剤になっています。みをつくしサポーターの申し込みは随時受け付けておりますので、興味のある方はぜひご登録ください。（こちらの二次元コードから登録できます。→）



学習発表会『はまみ夢ウィーク』は、11月13日（木）と14日（金）に開催いたします。今年度も小学部のステージ発表や中学部、高等部による作業製品の販売会を予定しています。児童が元気に発表する姿や生徒一人ひとりが丹精を込めた製品をどうぞご覧ください。詳細は、本校ホームページや地域の回覧板、掲示ポスター等でご確認ください。

今後も、学校が地域の皆様と共に成長できるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

栄養教諭より ◆地域の食材紹介◆ ~栄養教諭 菅沼純子

令和4年度より、浜松市で有機農産物の流通に携わっている「有機農業者マーケットの会」の鈴木潤子さんから、有機野菜を定期的に購入しています。安心安全な食材を子供たちに食べてもらいたいという思いから、生産量が少なく、収穫量が天候に左右されやすい有機野菜を、農家さんと連絡を取り合いながら学校まで届けてくださっています。



「有機農業者マーケットの会」
鈴木潤子さん

《本校の地域と関わる学習》

学校ホームページと合わせて
お読みいただければ幸いです。

小学部

小学部3年生は、校外学習で児童遊園（広岡・前田）に行きました。学校から公園まで、みをつくしサポーターの方も一緒に歩き、子供たちを見守るだけでなく一緒に遊んでいただきました。けがなく安全に行ってくることができました。

小学部6年生は、「姫様道中」の学習を行いました。姫様道中とはどのようなお祭りか、また、細江音頭の振り付けについても教えていただきました。その後、衣装や駕籠を協力して作り、全校の児童生徒に「みをつくし道中」を披露しました。



中学部

中学部1年生は、音楽の授業でみをつくしサポーターの方から琴の演奏を聞かせていただきました。初めに琴の楽譜を見せてもらい、音符ではなく漢字で書かれていることに驚きました。「さくらさくら」や「あかとんぼ」の曲を聞いたり、「手のひらを太陽に」の曲に合わせて歌ったりしました。生徒たちは、琴の音色に聞き入り、演奏する様子を真剣に見ていました。

また、琴と箏の違いや、琴を鳴らすときに使用する「角」についても学習しました。

日本の伝統音楽をこれから学習する生徒たちにとって、興味関心を引き立て、意欲を高めることができました。



高等部

農園芸班は、サツマイモを育てるための畑整備などをみをつくしサポーターの方と一緒に行いました。

暑さや草の多さに気持ちが挫けそうになりましたが、みをつくしサポーターの方が「あと少しだね。」などと励ましの言葉を掛けてくださいり、最後まで草取りをして畑をきれいにすることができます。

畝作りでは、畝の幅の目印となる紐の位置や、鍬を使って紐に沿って土を寄せることなどを教えていただき、畝づくりをスムーズに行うことができました。

